

令和8年9月7日

９月全校朝会　お話

みなさん、おはようございます。

みなさんにとって、大切なものは何でしょう。家族、友達、自分の命、毎日通っている学校。きっと、一人一人にいろいろな答えがあると思います。今日は、2026年に熊本で起きた地震と、8月6日に広島で行われた平和記念式典を通して、「当たり前の日常」と「平和」について考えてみましょう。大切なものまず、みなさんに一つ質問です。「みなさんにとって、大切なものは何ですか？」朝起きて家族に「おはよう」と言うこと。学校へ来て、友達と勉強したり遊んだりすること。家に帰って「ただいま」と言うこと。私たちは、そんな毎日を当たり前だと思っているかもしれません。でも、その「いつもの一日」は、本当に当たり前なのでしょうか。少し心の中で考えてみてください。





熊本地震この写真を見てください。私の葛城市から救援に派遣された知り合いが写真を送ってくれました。2026年、熊本で地震が起き、建物が崩れ、それまであった町の姿が大きく変わりました。昨日までそこにあった家や建物が、突然なくなる。いつも歩いていた道の景色が変わる。災害は、私たちの「当たり前の日常」を一瞬で変えてしまうことがあります。この写真を見ながら、自分の家や、自分たちの町だったらどんな気持ちになるか、想像してみてください。

避難生活地震のあとには、避難所で生活しなければならない人もいます。この写真は避難所の様子です。体育館や部屋に布団を敷き、段ボールで仕切りをつくって生活しています。安心して眠ること。家族だけで過ごすこと。好きなときにお風呂に入ること。そして、いつもの学校へ行くこと。普段は気づきにくいですが、そうした一つ一つが、とても大切なことなのだと思います。そして、災害のときには、人と人とが声をかけ合い、助け合うことが大きな力になります。

熊本地震の映像ここで、熊本地震に関する映像を少し見てみましょう。ただ見るのではなく、一つ考えながら見てください。「もし自分だったら、何を大切にしたいだろう？」「困っている人がいたら、自分には何ができるだろう？」映像の中の出来事を、遠い場所の出来事としてではなく、自分の生活と重ねながら見てほしいと思います。

（熊本県八代市の給食の動画を視聴する）

次に、時間を81年前までさかのぼります。1945年8月6日、午前8時15分。広島に一発の原子爆弾が投下されました。多くの尊い命が失われ、人々の暮らしや人生が一瞬で変わりました。今年、2026年8月6日の広島の「平和への誓い」は、こんな問いかけから始まりました。「もしも『大切なもの』が一瞬で消えてしまったら、どんな気持ちになるのでしょうか。」熊本の地震と戦争は同じものではありません。しかし、「当たり前の日常が突然失われる」ということから、命や毎日の大切さを考えることができます。

こども代表「平和への誓い」2026年8月6日、広島の平和記念式典で、こども代表の2人が「平和への誓い」を世界に向けて発信しました。ここでは、式典全体ではなく、こども代表が「平和への誓い」を述べている部分だけを見てみましょう。同じ小学生が、どんな言葉で「大切なもの」や平和について語っているのか、一つ一つの言葉をしっかり聞いてください。

（「平和への誓い」の動画を視聴する）

今年の「平和への誓い」には、みなさんの学校生活にもつながる大切な言葉があります。「相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること。」そして、「一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります。」校長先生は、この言葉をみなさんに大切にしてほしいと思います。平和は、遠い国のことだけではありません。友達の気持ちを想像すること。自分と違う意見をすぐに否定せず、まず聞いてみること。そうした行動も、平和につながっています。「平和とは、誰かからあたえられるものでなく、世界中の人々で創り上げるものです。」私たちも、その一員なのです。

私たちにできる小さな行動では、私たちにできることは何でしょう。困っている人に「大丈夫？」と声をかける。一人でいる人に「一緒にやろう」と声をかける。友達の話を最後まで聞く。「ありがとう」「ごめんなさい」をきちんと伝える。そして、自分の命も、周りの人の命も大切にする。どれも、とても小さなことに見えるかもしれません。でも、その小さな行動が集まることで、教室が変わり、学校が変わります。平和は、私たちのすぐそばから始まるのだと思います。

最後に、もう一度みなさんに問いかけます。「あなたにできる『平和への一歩』は何ですか？」優しい言葉を一つ増やすことかもしれません。友達の話を最後まで聞くことかもしれません。困っている人に手を差し伸べることかもしれません。災害によって日常が失われることがあります。そして、人と人との争いによって、命や日常が奪われることもあります。だからこそ、今ある「当たり前」に感謝し、自分の命も、誰かの命も大切にしてほしいと思います。みなさんの一人一人の小さな行動が、この学校の平和につながり、その先の未来につながっていきます。大切なものを守るために。誰かの大切なものも守るために。今日から、自分にできる「平和への一歩」を踏み出してみてください。これで、校長先生のお話を終わります。



